

鶴岡市立温海中学校 グランドデザイン2026

学校教育目標 自ら学び 自ら鍛える 心豊かな温中生

温中が目指す学び ⇨ 将来につながり未来を拓く学び

○学校教育目標を具現化する3つのキーワード（自学・自鍛・温海心）の意味

1. **自ら学ぶ力** ⇨ 知りたいという**探究心** **課題に気付き**より良く**解決する力** **思考・判断・表現力**
2. **自ら鍛える力** ⇨ 困難に負けない**たくましさ・しなやかさ** 失敗を恐れずに**挑戦する心**
3. **豊かな心（温海心）** ⇨ 他を思いやる**温かな心** 他者と上手に**関わる力** 温海の良さを引き継ごうとする**郷土愛**

豊かな人間性

豊かな心

健康・体力

自ら鍛える

- ・教育活動における多様なかかわりを大切に、違いを受け入れ思いやりを持って接し、より良い人間関係を構築できる力を育成する。
- ・総合的な学習の時間をはじめとする体験活動等を通して、故郷の良さを実感し、引き継いでいこうとする気持ちを育成する。
- ・「特別な教科道徳」に加え、あらゆる機会をとらえて学校全体で道徳教育を推進し、状況に応じて正しく判断し行動できる力を育成する。

- ・生徒主体の活動を中心に据えた授業や教育活動を通し、自分で決め、計画し、実行するとともに、取り組みを振り返り、次の行動に活かすことができる力を育成する。
- ・学校行事や体育活動、部活動等を通して、**困難や失敗を恐れずに立ち向かう気力や体力**を育成する。
- ・夢や希望を持ち、**目標達成に向けて自分を律し、粘り強く取り組む姿勢**を育成する。

資質能力の育成

何ができるようになるか

自ら学ぶ

何が身についたか

<対話を通して考えを広げ深め表現できる>

- ・多種多様なかかわりの中で、より良い人間関係づくりのスキルを身につけることができるようになる。
- ・話し合い活動を通して、他者の考えを基に自分の考えを広げ深めるとともに、表現することができるようになる。

<主体的な学びの習慣が身につく>

- ・興味関心を持ち進んで調べようとする学びの主体性や探究心が身につく。
- ・「教科の見方・考え方」を働かせ、**知識を相互に関連付けて考えを深めたり、思いや考えを基に創造したりする力**が身につく。
- ・振り返りを通して、**新たな目標を設定する力やメタ認知能力**が身につく。

生徒の実態

- ・素直で優しいが少人数の限られた集団の中で周りとのかかわりを苦手とする生徒やコミュニケーションが上手くとれない生徒もいる。

生徒の発達をどのように支援するのか

- ・スクールカウンセラー・専門機関との連携
- ・主任会等での情報の共有を中核とした校内の支援体制の構築。

目指す生徒の姿

- ・互いの良さを認め合い、主体的・対話的に学ぶ中で、**知識・技能、思考・表現・判断力**を身につけた自律した生徒を育成する。

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・探究型授業を推進し、**授業を通してより良い人間関係づくり、コミュニケーション力の基盤**を育成する。
- ・ダイアリー形式手帳を活用して**スケジュール管理能力**を身につける。
- ・授業と連動した発展的な、**家庭学習を個に応じて推進**することで、やらされている感からの脱却を図り、生徒が自ら目標を持って行うことで、**主体的な学びの向上**を図る。
- ・ICT や AI ドリル活用して学習進度や到達度に応じた「**個別最適な学び**」を進め、**生徒自ら自己調整して学習を進める力**を育成する。

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・温中真心宣言の実践
- ・学校教育目標に沿った計画と振り返り
- ・学年の発達段階に応じた体験活動等の実施（福祉体験学習・職場体験・いのちの学習・思春期講話・キャリア教育講演会・海洋教育）
- ・修学旅行（3年）の実施
- ・ネット依存防止講話の実施
- ・セーブメディアの推進
- ・運動会・合唱祭（全校）の実施
- ・縦割り活動を推進し、**交流の中で自分の考えを表現できる力**を育てていく。

実施するために何が必要か 指導体制の充実、家庭、地域との連携・協働

- ・探究型学習による「対話的で深い学び」を目指した**授業改善の推進**
- ・SELの視点を取り入れた**授業づくり**。（教師の指導力）
- ・指導主事等を招聘した**校内授業研（全員授業研）の推進**。（教師の指導力）
- ・デジタル教科書を含む**ICT機器を使った授業の推進**。
- ・教科横断型学習カリキュラムの構築→地域学習、海洋教育、福祉体験、職場体験、修学旅行、（柔軟な教育課程）
- ・鶴岡型小中一貫教育推進に向けての**小中連携教育課程の編成**。小中相互授業研究会、小学生の中学校授業体験の実施。（小中連携）
- ・学校が抱える様々な課題への**対応推進**→学校運営協議会と外部機関との連携強化
- ・教師の働き方改革の推進と生徒の多様なニーズへの**対応**→年間通した新日程の実施、行事等の精選と土日の部活動の地域展開推進等
- ・地域との連携を図るための**組織体制づくり**（地域の人材や教育資源の効果的活用）

安心・安全を守る

- ・防災教育の実施。
- ・地域と連携した地震・津波避難訓練の実施と対応確認
- ・定期的な避難訓練、災害時の生徒の引き渡し訓練の実施

開かれた学校づくり

- ・入学説明会の実施。
- ・授業や学校行事の発信、配信
- ・地域の方を対象とした学校公開日の設定。
- ・地域の教育資源を活用した体験的学習の推進。